

万次郎ゆかりの地訪ねる

松本の中学生ら米国研修

幕末に活躍した国際人ジョン万次郎(1827~98)の生き方を学び、20年計画で若者を育て世界に誇れる日本を創造しよう、と松本市を拠点に春から活動を始めた有志団体「ジョン万次郎20年の会」未来を担うは、9月15日、生徒や学生4人を米国に派遣する。(13)諏訪市、松本市の出身で長野工業高校2年の原来鳴さん、慶応義塾大学の川北菜奈さん、フジゲン会長の横内祐一郎さん(89)らが発起人となって4月、米国のホイットフィールド万次郎友好協会の吉田礼三名誉理事の講演「ジョン万次郎の勇気と努力に学ぶ」を市内で開いたのを機に会が結成された。4人はこの講演を聴き、後日実施された感想文コンクールで選ばれた。



米国での研修に期待を膨らませる宮原君(右)と伊藤君

4人のうち、宮原君は「万次郎の自信と勇気を持ち前進する姿勢が印象的だった。日本の文化の違いを見て視野を広げたい」、伊藤

君は「講演で『利他の心』について聴き感動した。派遣の機会を生かして学びたい」と抱負を話している。会は、帰国した4人と幅広い年齢層の参加者との意見交換会の実施や、来年以降も講演、海外派遣、意見交換会を続けることを既に決めている。会の代表を務める横内さんは「4人に代表して世界の手本になる日本人はどうか、皆で考えていきたい」という。(白沢幸恵)